

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	31-3																									
PDCA	主要事業名	岩滑公民館改築等事業	部課名	教育部生涯学習課	担当	酒井																										
					内線	23-7341																										
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 1 単位施策： 学びの推進 全体事業期間： 令和 元 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 398,791 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.02.04.51						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																									
	事業概要等		地域の生涯学習活動・地域活動の拠点となる地区の公民館を、市民が安全かつ快適に利用できるよう、改築または大規模改修により環境整備を行うもの。昭和39年度に建築され、56年が経過している岩滑公民館の改築を実施する。 事業目的： 施設の安全性、利便性、機能性を向上させる。 事業内容： 岩滑公民館について、令和3年度から令和4年度にかけて建設を実施し、令和5年1月の供用開始に向け備品等を整備する。 問題点・課題等： 地域住民の意見も取り入れながら、公共施設等総合管理計画に基づき事業を遂行する。																													
	予算額		主要事業とする理由																													
	213,190 千円		施設の老朽化が課題となっている地区公民館を順次建て替え等していくことが、地域の生涯学習活動や地域活動の活性化につながるため。																													
	財源内訳		得られる成果																													
	市費		施設の安全性と機能性、利便性が高まり、多世代の利用が促進されることにより生涯学習活動や地域活動の活性化につながる。																													
	141,784 千円		目標値や目指すべき状態																													
	国費		安心・安全に利用できる新しい建物を予定通り建設する																													
	56,406 千円																															
	県費																															
0 千円																																
その他																																
15,000 千円																																
D 実績値	決算額		得られた成果				評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用																									
	211,150 千円		岩滑公民館が、令和4年12月11日に竣工、同月12日に供用を開始し、予定どおり改築を完了することができた。多世代による、多様な利用が促進され、地域の活動が活性化されている。 成果指標 安心・安全に利用できる新しい建物を予定通り建設する。																													
C 課題の整理	事業の評価・課題		B 改築にあたっては、地域の生涯学習活動・地域活動の拠点として、安全・安心・快適に利用できる施設にすることを基本として、公民館を利用される団体や地域住民の意見を取り入れながら整備を進めた。授乳室や絵本などの図書コーナーを備えた交流ラウンジ、可動式間仕切りを設置した会議室など、すべての世代が気軽に足を運べて利用しやすい公民館とすることができた。																													
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性		終了 岩滑公民館は、令和4年12月11日に竣工、同月12日に供用を開始し、事業終了。																													
	観点別評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">必要性</th> <th colspan="2">有効性</th> <th colspan="2">効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性</td> <td>妥当</td> <td>④上位施策への貢献</td> <td>中程度</td> <td>⑦コスト削減</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ</td> <td>高い</td> <td>⑤成果向上の余地</td> <td>ない</td> <td>余地</td> <td>※対象・手段の変更</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響</td> <td>大きい</td> <td>⑥類似事業の有無</td> <td>ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>ない</td> </tr> </tbody> </table>						必要性		有効性		効率性		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減	ない	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	余地	※対象・手段の変更	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	必要性		有効性		効率性																											
	①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減	ない																										
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	余地	※対象・手段の変更																											
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																											